

福祉は文化

施設内美術館 新光苑美術館

今回から特集連載として「新光苑美術館」で収蔵展示されている作品群を紹介。絵画を中心に、近現代日本美術を代表する名作の光と芸術の輝きをご堪能ください。

第1回 宮本豊蔵のヨーロッパ風景



宮本豊蔵「夕刻の街角」油彩 F30号



宮本豊蔵「ハリ残照」油彩 F40号



宮本豊蔵「冬の海」油彩 F25号



宮本豊蔵「セース」油彩 F60号

画家・宮本豊蔵は1952年、福島県いわき市生まれ。1985年から2年間のフランス独学取材として絵画修業を積み、ブロードウェイ新人賞入選。ギャラリーロイヤルギンザをはじめ国内有力画廊等で個展開催。1992年、安井賞展出品。福島県双葉町にアトリエを構えていたが、東日本大震災の原発事故により避難を余儀なくされた。被災から2年後、再生の道を進むため福島の地に戻り積極的な創作を続けている。

「宮本コレクション」と名付けられた新光苑美術館の作品群は、宮本が渡欧経験によって得た独特の美学を感じさせるものである。「ハリ残照」の描かれたセース沿いの風景は強い印象を放っている。夕暮れ時の赤であろうか、それを背景にしてアレクサンドル3世橋やアンヴァリットの黒い存在感が際立っている。これは「夕刻の街角」の画面全体の黒色に作用する赤色と白色の美しき対照性とも結び付くのである。

一方で「セース」と題した作品には、セースの水面に浮く船がハリの街並みの喧騒と交り合い動的な雰囲気を作り出している。水の表現に一つの理念さえ感じられる宮本の技法は、白色と奥深い青緑色の塗り込み方に特徴がある。これは「冬の海」でも同じであり、冬の寒冷なる厳しさが曇天の下に勢よく押し寄せる波として表現されている。宮本の鋭い感性と風景描写に対する気高さ精神性が感じられる。

(本連載は美学研究者で学芸員の山下祐樹が執筆を担当します。)

第7回 令和3年1/16 (土) 八木橋1F 認定NPO法人くまがや小麦の会による

熊谷市県立高校スイーツ文化祭



高 熊谷高等学校

熊谷市大原1丁目9-1 TEL 048-521-0050



くぬぎサブレ



スイーツ文化祭での販売の様子

赤覚校舎を熊谷産サブレにデザインして地域社会との交流の場として、毎年文化の日(1月16日)に八木橋百貨店で開催される「くまがや小麦の会」の「県立高校スイーツ文化祭」に参加させてもらっていました。今年はコロナ禍ということもあり、中止となりました。7年前の先輩方が生徒会を中心に、夏休み

～現状報告会～

「第7回熊谷市県立高校スイーツ文化祭が中止になりました」
新年1月16日(土)に八木橋百貨店東口で12時より「タウンタウン小麦30号」の配布を実施いたします。
認定NPO法人くまがや小麦の会
会長：日向美津江

八木橋百貨店の1階東口で熊谷市県立高校の皆様の御参加を頂き、11月3日に毎年実施させて頂いておりました。熊谷産小麦を使用し、小麦の会と共同で製造したオリジナル製品を、県立高校の皆様が八木橋で販売実践して参りましたが、コロナ禍を鑑み第7回は中止とさせて頂きました。本年は「タウンタウン小麦」30号の配布と製品の展示に代えて頂きます。
コロナ禍を通して、社会環境も元に戻る事はなく、変化に対応してゆく体制を構築してゆかねばなりません。熊谷市の県立高校に通学する学生と、熊谷産小麦を介して共働できる体制は「くまがや小麦の会」の活動の中心に据えたい事業で有ります。県立高校のニーズとの協調を大切に、地域社会との交流、熊谷産小麦の普及を深めて参りたいと存じます。



高 熊谷西高等学校

熊谷市三ヶ尻2066 TEL 048-532-8881



ポントドーナツ。生徒がデザインしたポントシールが付いています。



今年新しくなった熊西の制服です。

熊谷西高のポントドーナツは西高に住んでいるポントという猫にちなんで名づけました。ポント太はいつの間にか西高に住み着き、校舎を自由にウロウロして、生徒たちにとっても可愛がられる存在だったポント。ポントドーナツには、そのポントを生徒がデザインしたシールが貼ってあり、ポントを懐かしんで購入して下さるOBもいらっしやいました。今回は残念ながら販売できませんが、展示してある、可愛いポントシールを貼ったポントドーナツを見ただけならと思います。



高 熊谷農業高等学校

熊谷市大原3丁目3-1 TEL 048-521-0051



メロメロめろんぱん



食品科学部の部員を束ねる部長と副部長のみなさん

昨年登場したメロメロンぱんは、パン技能士の資格を持つ食品科学科の先生と、食品加工部の生徒みんなで開発した新商品です。メロンパンの中に、風味豊かなメロンクリームとメロンソーダ餡、そして求肥が入っています。このパンで和と洋が味わえるとしても評判でした。このように、熊谷農業高校食品科学部では、常に食品の可能性を追求し、色々な商品を作っています。
来年度のスイーツ文化祭では、どのような商品が提供できるか、今から楽しみにしています。



熊谷女子高等学校

熊谷市末広2丁目131 TEL 048-521-0015



鈴懸クッキー



鈴懸クッキーのデザインのモチーフになった校庭の鈴懸の木。熊谷市の天然記念物でもあります。

熊女のクッキーは、35年以上前、当時の生徒により考案され、今もレシピが受け継がれています。粉やバターを混ぜ、型を抜き、焼き、包装まで全てが調理部員による手作りです。今年、新型コロナウイルス感染症の影響で開催されませんが、7月の文化祭では長蛇の列ができ、すぐに売り切れてしまう人気の商品です。熊谷市県立高校スイーツ文化祭でもOGをはじめ、多くの皆様に大好評です。一枚一枚丁寧に焼き上げたので、新型コロナウイルス感染症の事態が収束した際にはぜひ皆様にご賞味いただきたいです。



熊谷特別支援学校

熊谷市川原明戸605 TEL 048-532-3689



ゆめのすけクッキー



文化祭にゆめのすけクッキーを販売しています

本校のゆめのすけクッキーは、主に夢祭(下り餅)祭で販売されます。子どもたちが、お小遣いを入れた財布から100円を取り出して笑顔で買う姿が毎年見られます。また、イベントでの販売も計画されていて、今年も「コロナウイルス」で中止になってしまいましたが、販売の機会が少なくなりました。そのような現状ですが、本校は今年度から「ミニテイ・スクール」として動き出しました。その一環として、地域の方々の繋がりをこの「ゆめのすけクッキー」を足がかりとして取り組んでいければと考えております。

セレシニーホール 埼玉熊谷市の葬儀場 0120-136-444

立正幼稚園は 令和元年度より認定こども園、立正幼稚園となりました

吉田・櫻井税理士法人 税理士 吉田 嘉高

くぼじまグループ くぼじまクリニック KUBOJIMA CLINIC

佐藤測量設計株式会社

株式会社 平松 代表取締役 日向研一朗

熊谷の風土と歴史の香りをお届けします 近江屋酒店

リサイクルの亀井産業グループ